学校・家庭・地域が一体となって

－岸中コミュニティー・スクールの推進－

サクラ
花言葉…精神の美

校長　山浦　麻紀

三寒四温の繰り返しの中で、そこここに咲く花の彩りや穏やかな風の柔らかさに、春の息吹が感じられるようになりました。

保護者の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げますとともに、日頃より本校教育の充実・進展のためにご支援、ご協力を賜りますことに厚く御礼申し上げます。

本校は先月２１９名の卒業生を送り出し、１８４名の新入生を迎え、生徒５８２名、教職員５５名で令和７年度をスタートいたします。私は本校に着任し、３年目を迎えます。多くの方々から、本校生徒は挨拶がしっかりでき、素直でとても明るく落ち着いているとお褒めの言葉を頂いております。これもひとえに保護者の皆様やご家庭，地域の教育力の賜物と深く感謝いたします。今年度も、岸中の有形無形の財産を大切にしながら、心と心を通い合わせながら、教職員一同、一丸となって努力してまいる所存です。昨年度同様よろしくお願いします。

さて、今、学校に求められていることは、Society5.0 時代の社会の中を、心豊かにたくましく生きる子どもを、誰一人取り残すことなく育成することであります。心豊かにたくましく生きる子とは、一人一人が**個を確立**し、**公の発展**に尽くすことのできる人間と考えます。**個を確立するとは、**「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する最適解を見つける能力」「豊かな人間性」「健康な心と体」を持った人間を意味します。**公の発展とは、**互いに助け合い、力を合わせて、社会を正しく発展させていく意欲に燃えた人間を意味します。

本校の教育目標である「進んで学ぶ・心豊か・たくましく」を軸とし、次のような生徒の育成を目指してまいりたいと考えております。

進んで学ぶとは：意欲的に学び、深く考える生徒になろう。
　　夢を持ち、努力する生徒になろう。
心豊かとは　　：やさしく、温かい心を持つ生徒になろう。
　　広い視野から、さまざまなよさを発見する生徒になろう。
たくましくとは：健康で逞しい生徒になろう。
　　正しい判断により主体的に行動する生徒になろう。

また、子ども達の教育は、学校という場所でのみ、なし得るものではありません。学校、家庭、地域が一体となって子ども達の教育にあたることが不可欠です。本校の教育活動推進にあたり、保護者の皆様には、今後とも折りにふれ忌憚のないご意見と、御理解、御協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。